

① 観光分野とは

- 温泉や自然公園、歴史的建造物があり、観光関係のサービス業が活発
- 観光入込客数が多い
- 地域特産の食材、特有のグルメが多い

② 観光分野の課題

● 観光業

- 温暖化による冬季リゾートのエリアや営業期間の縮小
- 自然環境保全に対する理解の低下
- ドライブ観光による通過型観光地の点在
- ドライブ観光に伴う地域公共交通の利用者減少と利便性低下
- 自然資源のさらなる活用
- 観光客による野生動物への餌付け・ごみのポイ捨て
- プラスチック包装等のごみの廃棄

● エネルギー・GHG排出量

- 温泉加温ボイラーの稼働によるCO₂排出
- 自動車の長距離移動によるCO₂排出
- 公共交通によるCO₂排出

● まちづくり・地域経済

- 住環境・生活環境の維持
- オーバーツーリズムによる渋滞



④ 取組によって想定される効果

● 観光業

- エコツーリズムによる自然環境保全の大切さの啓発
- 体験型観光ツアーによる滞在型観光の普及
- 温暖化抑制による冬季リゾートの縮小回避
- グリーンズローモビリティの導入による交通手段の多様化

● エネルギー・GHG排出量

- 温泉排熱の有効利用によるエネルギー消費の削減
- EVや公共交通の利用促進によるCO₂排出量の削減
- 太陽光発電・蓄電池による観光拠点施設の防災性向上

● まちづくり・地域経済

- EV活用のための新規事業の創出
- 地域内温泉排熱供給による地域資源の利用
- 地域交通弱者への支援
- 観光産業の振興による地域経済の活性化

⑤ 導入が想定される再生可能エネルギーの種別

- 温泉排熱の熱利用
- 景観や環境と調和した太陽光発電

③ 脱炭素化の取組例

温泉排熱の有効活用の取組例

a. 温泉排熱の有効利用、ヒートポンプ導入

温泉から発生する排熱を宿泊施設等の観光関連施設で熱源として利用し、温泉加温時の省エネ化、低炭素化を図る。

b. 温泉排熱を活用した新たな産業の創出

温泉排熱を利用し、水産物の陸上養殖や北海道では栽培できない農作物の栽培や、冬季間の農作物の栽培時のハウスの熱利用等で新規産業を創出する。

観光施設での取組例

c. 土産品やアメニティの脱プラスチック推進

土産品に使われる包装の簡易化や脱プラスチック化、宿泊施設で提供されるアメニティの削減や脱プラスチック化を図る。

自然保護関連の取組例

d. 国立公園のゼロカーボンパーク化

短期的な取組によって観光地の脱炭素化を図り、国立公園のゼロカーボンパークへの登録を目指す。訪れる国内外の観光客が脱炭素型の持続可能なライフスタイルを体験できる環境を整える。

e. エコツーリズムの促進、ワーケーションの推進

近年、サステナビリティや新しい働き方への関心が高まっている。低炭素型・体験型エコツーリズムの普及、観光客が脱炭素につながる行動変容を促す取組みや、観光施設をワーケーション等の新しい働き方の実現のために活用する。

f. 湿原保全によるCO₂吸収源対策

観光資源として挙げられる湿原の保全活動やCO₂吸収源対策を行い、環境資源としての価値を向上させつつ、地域の脱炭素に寄与する資源として整備する。

g. 自然環境や景観型および観光関連施設への太陽光発電の導入

豊かな自然環境や景観に配慮した太陽光発電の設置や観光施設、商業施設への太陽光発電と蓄電池の併設を推進し、再生可能エネルギーの導入拡大およびレジリエンスの強化を図る。

交通分野での取組例

h. ゼロカーボンドライブの推進

道の駅や観光関連施設等へEV充電設備の導入を促進する。また、駅やバスターミナルなどの公共交通拠点にEVシェアリングシステムの拠点を導入し、地域公共交通の利用促進・脱石油化を促進する。

i. グリーンズローモビリティの活用

グリーンズローモビリティを導入し、観光交通の多様化を図る。また、地域の交通弱者の支援としても活用する。